

令和5年度 部別予算見積方針・要求一覧表（一般会計：枠配分対象経費）

様式0-1

部名 **子ども健康部**

当初予算編成に係る方針

子ども健康部は、「子ども・子育て支援と児童福祉の充実」及び「予防・健康づくりの推進」を図る所管として、コロナ禍にあっても柔軟で強靱な子育てや福祉、保健の構築と新たな日常の下での必要とされる経済的負担軽減を含む生活支援策を行い、ポストコロナ時代の新しい未来を見据えたデジタル技術の活用やSDGsの理念等に基づく、誰一人取り残さないインクルーシブ（共生）社会や持続可能な社会の実現に向けて、「全ての子どもが笑顔が輝き」、「全ての市民が健やかで生涯活躍できる」ように必要な事業を重点的に推進して行く。
引き続き、組織・職員としては、徹底した「現場主義による自分事としての気づき」や「人事ではなく「当事者目線」に立ちつつ、より一層EBPM【統計データや各種指標など、エビデンス[客観的根拠や証拠]に基づく政策の決定や実行を効果的・効率的に行うこと】に取り組んでいく。

また、少子高齢社会の進展や生産年齢人口の減少、価値観の変化や多様化を踏まえ、オープンカバンズ【市民と行政が協働で地域の課題解決に当たる市民参加型社会の新しい公共サービスの枠組み】の考え方を踏まえ、行政、支援事業者、地域住民、当事者市民、それぞれに役割と出番がある考えのもと、一層の連携・協力を図るとともに、複雑化や高度化する課題解決に向けて、点や線ではなく面でのオーバーラップする支援の在り方に立ち、組織・所属の枠を超えた重層的・包摂的な取り組みに努め、職員一人ひとりがイノベーション【革新】を意識して、主体的に質と量が確保される価値創造型の各種施策・事務事業を目指して取り組みを推進して行く。

①『柔軟で強靱な保健体制の確立と生涯現役活躍へのヘルスリテラシーの向上』

3年間に及ぶコロナ禍において、市民の命と生活を守ることを最優先に、ワクチン接種事業をはじめとする感染症対策に取り組んできたが、引き続き、国の方針を踏まえエビデンス(科学的根拠)に基づいた、強靱な保健行政と健康危機管理体制の強化を推進する。また、ヘルスプロモーション(自らの健康をコントロールし改善できるようにするプロセス=健康寿命延伸に向けた健康生活の健康習慣づくりと環境づくり)に基づいた予防・健康づくりの推進のために、ヘルスリテラシー(健康を決める力)の向上に積極的に取り組む。

②『夢をつむぐ子育て支援と生み育てやすい総合的な子育て支援の推進』

次世代を担う子どもたちは、社会の希望であり、未来をつくる力であり、子育て支援は、未来への投資や持続可能な活力あるまちづくりへの投資であり、社会的援助を必要とする子どもやその家庭への支援も含めて、全ての子どもたちの健やかな育ちと子育てを支える夢をつむぐ子育て支援の充実を図る。妊娠からの切れ目のない包括的な子育て支援、多様な保育サービス等の充実、きめ細やかな関わりを必要とする子どもや家族等へ支援の充実等の施策に対して、必要と考えられる子育て世帯の経済的な負担の軽減に取り組むとともに、子育て環境や支援施策の量的な拡充と質的な向上に努め、常に子どもを真ん中に据え、子どもの権利条約に基づく「子どもの最善の利益」の実現を第一に考える視点に立って取り組む。

③『誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現と障がい児支援の推進』

成育環境にかかわらず誰一人取り残さず誰もが健やかな成長を保障するように、児童虐待防止対策や社会的養育の迅速かつ強力な推進、個人の責任や努力だけでは対応できないリスクに対して、必要な生活保障を行うセーフティネット(安全網)の充実、インクルーシブ(社会的包摂)と発達に課題を有する子どもや医療的ケア児への支援の拡充に取り組む。

予算見積要求一覧

(単位:千円)

課名等	当初2次歳出予算見積額総額 A	内ふるさと応援基金特別枠 B	当初2次歳入予算見積額総額 C	内ふるさと応援基金特別枠		内ふるさと応援基金(枠配分)充当額 F	当初2次枠配分一般財源 G:(A-B)-(C-D-E)
				その他特財 D	ふるさと応援基金充当額 E:B-D		
幼児課	933,412	13,897	283,604	0	13,897	47,808	649,808
子育て支援課	655,157	1,300	414,235	0	1,300	10,165	240,922
健康推進課	545,587	15,820	56,320	0	15,820	2,443	489,267
発達支援課	86,945	0	81,899	0	0	584	5,046
新型コロナウイルスワクチン接種対策室	282,433	0	282,433	0	0	0	0
合計	2,503,534	31,017	1,118,491	0	31,017	61,000	1,385,043

①

②

部配分ふるさと応援基金(枠配分)財源額	H	61,000
---------------------	---	---------------

③

部配分一般財源額	I	1,220,362
----------	---	------------------

+

部配分一般財源額(部間調整後)	I+J	1,220,869
-----------------	-----	------------------

④

枠配分一般財源額を超過(②>④)

調整先部名・調整内容	J	部間調整額
総務部・銀行手数料		▲123
福祉保険部・福祉基金繰入金		630

ふるさと応援基金新規・拡充特別枠対象事業

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	事業概要
幼児課	絵本に囲まれて育つ子ども推進事業	8,340	公私立就学前施設の絵本整備による保育の質の向上を行う。
幼児課	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	3,795	民間保育所認定こども園給付等管理システムの整備によるDX推進。
幼児課	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	1,762	使用済みおむつの園処分支援補助の創設。
子育て支援課	子ども食堂支援事業	1,300	子ども食堂施設整備補助の創設。
健康推進課	ガン検診事業(健康診査)	3,570	Web検診予約システム導入によるDX推進。
健康推進課	感染症予防対策事業	12,250	帯状疱疹予防接種補助成制度の創設。

予算見積における部の主要事業(当初1次基金対応事業を除く)

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	一般財源	事業概要
幼児課	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	346,845	272,270	医療的ケア児保育支援に伴う看護師配置補助制度を創設。
子育て支援課	一時預かり事業	7,433	1,560	新たな一時預かり施設の拡充により3歳以上児の受け入れを広げる。
健康推進課	母性育成指導事業	77,593	73,275	妊娠期から出産後までの切れ目ない支援を充実する。
発達支援課	保育所等訪問支援事業	21,977	0	訪問支援の回数を充実するとともに対象を学齡期まで拡充する。
新型コロナウイルスワクチン接種対策室	新型コロナウイルスワクチン接種事業	282,433	0	R5.9末までのワクチン接種費用を確保する。

枠配分達成に向けた、歳入確保・歳出削減に対する主要な取り組み

(単位:千円)

課名等	事業名	区分	歳入確保額 歳出削減額	取り組み内容(増減要因)
発達支援課	保育所訪問等支援事業 児童発達支援事業	歳入	34,035	職員を確保し、受け入れ児童数を増やすことで歳入の確保を図る。
健康推進課	保健センター運営事業	歳入	1,586	母子カルテのデジタル化の取り組みに対し、国庫補助金を確保する。
幼児課	幼稚園運営事業	歳入	734	幼稚園の医療的ケア児に対応した看護師の配置に対する国庫補助金を確保する。
子育て支援課	利用者支援事業	歳出	528	子育て利用アプリのHP活用による維持管理費の削減。

特記事項: